

会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

令和7年度 第1回丹波篠山市地域公共交通会議

2 開催日時

令和7年6月23日(月)10時00分から12時00分

*受付時間(9時45分から9時55分まで)

3 開催場所

丹波篠山市民センター1階 研修室1

4 会議に出席した者の氏名(敬称略)

(1) 委員(18名)

大谷大学 野村 実
丹波篠山市 堀井 宏之
株式会社ウイング神姫 日下部 達也
京阪京都交通株式会社 町田 和也
日本交通株式会社 田中 浩
公益社団法人兵庫県バス協会 新屋敷 昭一
丹波篠山市社会福祉協議会 松本 ますみ
丹波篠山市自治会長会 山田 俊朗
丹波篠山市PTA協議会 小松 千穂
国際ソロプチミストささやま 上田 照代
後川郷づくり協議会 小倉 委代
大芋地区有償運送事業運営協議会 藤田 邦子
神戸運輸監理部兵庫陸運部 木原 健太
株式会社ウイング神姫労働組合 妹尾 陽
日本交通三丹地区労働組合 神原 功
兵庫県丹波県民局丹波土木事務所 乳原 正文
篠山警察署 篠田 敦志
一般社団法人丹波篠山市観光協会 北川 敦雄

(2) 執行機関(4名)

企画総務部 竹見 聖司
創造都市課 藤田 尚位、竹内 一真、足立 和隆

(3) その他

神姫バス株式会社 竹内 宏
株式会社ウイング神姫 岡田 清
兵庫県土木部交通政策課 小玉 嗣人
丹波市ふるさと定住促進課 藤原 宏康

5 傍聴人の数

0人

6 議題及び会議の公開・非公開の別

公開

7 会議資料の名称

(1) 次第

- (2) 【議案1】令和6年度 地域公共交通会議収支決算及び事業報告について
- (3) 【議案2】令和7年度 地域公共交通会議予算（案）について
- (4) 【議案3】地域公共交通計画認定申請について
(地域内フィーダー系統確保維持補助金)
- (5) 【議案4】デマンドバス運行実績について
- (6) 【議案5】デマンドバス運行エリアの拡大について
- (7) 【議案6】デマンドバスエリア拡大に伴う事業計画等の変更について
- (8) 【議案7】コミュニティバスA・Cルートの休止について
- (9) 【議案8】自家用有償旅客運送にかかる停留所の追加について

8 審議の概要

別紙のとおり

別紙

発言者	審議内容及び発言内容
事務局	<p>■開会</p>
事務局	<p>1. 開会</p>
事務局	<p>2. 委嘱状交付</p>
事務局	<p>3. 議事</p>
野村会長	<p>では協議事項に移る。</p>
野村会長	<p>「【議案1】 令和6年度 地域公共交通会議収支決算及び事業報告について」について事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>「【議案1】 令和6年度 地域公共交通会議収支決算及び事業報告について」について説明</p>
野村会長	<p>ただ今事務局より説明したことについて、何か意見・質問はあるか。</p>
	<p>～意見・質問なし～</p>
野村会長	<p>それでは、「【議案1】 令和6年度 地域公共交通会議収支決算及び事業報告について」について承認する方は挙手願う。</p>
	<p>～全員挙手～</p>
野村会長	<p>挙手多数と認めるので、「【議案1】 令和6年度 地域公共交通会議収支決算及び事業報告について」を承認する。</p>
野村会長	<p>それでは「【議案2】 令和7年度 地域公共交通会議予算（案）について」について事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>「【議案2】 令和7年度 地域公共交通会議予算（案）について」について説明</p>
野村会長	<p>ただ今事務局より説明したことについて、何か意見・質問はあるか。</p>
上田委員	<p>補助金内訳に地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金とあるがこれはどういったものか。</p>
木原委員	<p>幹線系統を補完する赤字の支線の運行を補助するものである。</p>
木原委員	<p>木に例えると幹の部分幹線系統で、枝の部分を支線（フィーダー）系統である。</p>
野村会長	<p>フィーダーについては議案3のところ事務局に詳しく説明してもらおう。</p>
野村会長	<p>それでは、「【議案2】 令和7年度 地域公共交通会議予算（案）について」について承認する方は挙手願う。</p>

	～全員挙手～
野村会長	挙手多数と認めるので、「【議案2】令和7年度 地域公共交通会議予算(案)について」を承認する。
野村会長	それでは「【議案3】地域公共交通計画認定申請について(地域内フィーダー系統確保維持補助金)」について事務局より説明願う。
事務局	「【議案3】地域公共交通計画認定申請について(地域内フィーダー系統確保維持補助金)」について説明。
野村会長	ただ今事務局より説明したことについて、何か意見・質問はあるか。
木原委員	先ほどの説明で不足する部分があったので補足する。【議案3】4ページ目の主な補助対象については路線の赤字分を2分の1まで補助するというものだ。下段の図はどのようなものに対して支援をするのかを示したもので、左図は駅とバス停を地域間幹線系統とし、バス停から接続し地域に入っていくものに補助する。右図は駅と駅を幹線系統とし、ここが黒字であれば補助対象外であるが、駅からさらに接続し交通が不便地域へ向かうバスであれば補助するというものだ。 9ページの「他市町の計画に位置付けない合理的な理由」を補足すると柏原線は丹波篠山市にとっては必要な系統のため地域公共交通計画に位置付けているが、丹波市としては、そこまでの系統と考えていないので計画に位置付けていないということだ。 年度についても補足させていただくが、今は令和8年度の議論をしている。令和7年分は昨年10月から今年9月の計画で、補助金は国から交通会議に入り、そこからバス事業者に支払う流れとなる。
野村会長	他に質問はないか。 それでは、「【議案3】地域公共交通計画認定申請について(地域内フィーダー系統確保維持補助金)」について承認する方は挙手願う。
	～全員挙手～
野村会長	挙手多数と認めるので、「【議案3】地域公共交通計画認定申請について(地域内フィーダー系統確保維持補助金)」を承認する。
野村会長	それでは「【議案4】デマンドバス運行実績について」について事務局より説明願う。
事務局	「【議案4】デマンドバス運行実績について」について説明。
野村会長	デマンドバス実績について、目標が17人となっているがこちらにはまだ届いていない。ただ、最近では1日平均利用者数も増加傾向にあることからこれからの伸びに期待できる。 ただ今事務局より説明したことについて、何か意見・質問はあるか。
山田委員	支払は現金のみとなっているが、そこに対する不満の声はないのか。

事務局	支払いをキャッシュレスにしてほしいという声は多数あり、市としても導入していきたい。ただ、導入経費が膨大になることから対応できていない。数年後に兵庫県共通でキャッシュレスを使用できるサービスが予定されているので、そのタイミングに合わせてキャッシュレス決済を導入していきたい。
野村会長	回数券のようなものを発行する予定はあるか。
事務局	今後のニーズを調査し、必要であれば導入させていただく。
松本委員	秋ごろに市の西側でもデマンドバスが運行するというのを聞いたが、どのような内容か。
事務局	【議案5】で説明させていただく。
木原委員	8ページに平均乗客数とあるが、1回の予約で何人か予約することができるのか。
事務局	その通りである。代表者が複数名予約をすることが可能である。
木原委員	乗合率とは乗車している際に別の利用者を迎えに行った割合を示したものか。
事務局	その通りである。
木原委員	登録者に30代が多くなっているが何か若者が利用するような取り組みを実施していたのか。
事務局	一般的な広報活動は実施していたが、30代の登録者が多い原因は調査中である。
上田委員	自分が行きたい時間に予約することで乗車できるのか。
事務局	予約可能な日時であれば乗車可能である。ただ、ほかの利用者の予約状況により希望する時間に予約できない場合がある。
山田委員	10ページの乗降場所ランキングで東本庄周辺が入っていないがこれは村雲・雲部エリアは利用が多くないということか。
事務局	乗降場所ランキングは公共施設と買い物、病院のみで、地域の公民館やバス停などはランキングから除外している。村雲・雲部は9ページにもあるように利用回数は多い。次回、実績を提示する際には公民館やバス停などもランキングに反映させていただく。
野村会長	他に質問はないか。 それでは、「【議案4】デマンドバス運行実績について」について承認する方は挙手願う。
～全員挙手～	

野村会長	<p>挙手多数と認めるので、「【議案4】デマンドバス運行実績について」を承認する。</p>
野村会長	<p>それでは「【議案5】デマンドバス運行エリアの拡大について」について事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>「【議案5】デマンドバス運行エリアの拡大について」について説明。</p>
野村会長	<p>ただ今事務局より説明したことについて、何か意見・質問はあるか。</p>
北川委員	<p>デマンドバス利用は地域住民の足としての利用が基本であるのか。</p>
事務局	<p>地域住民の足としての利用だけではなく、市外の方や観光客の方にも幅広く利用してもらおうと考えている。</p>
北川委員	<p>丹波篠山市は2拠点居住を現在、推進推奨しており、実際に2拠点生活をしている人も増えてきている。国としても住民票を2か所に持つことについての話も出てきており、そういった広がりの中でデマンドバスの活用も必要になってくると考える。</p>
事務局	<p>2拠点居住ということで、今後はデマンドバスの多様な利用が増えてくると考える。木曜日と日曜日と祝日が休みであるが、全ての曜日を運行することは経費の面でなかなか難しい。こういった日にニーズが多いのかについて検証していかなければと考えている。現在は市民の利用が多いが、秋の観光客利用など今後どのような形で利用されるかについても十分に検証していきたい。</p>
山田委員	<p>6月から8月にかけて住民説明をするということだが、東部エリアとは異なり要件が複雑に感じる。利用者は高齢者が多いとのことなので、丁寧な説明を心掛けていただきたい。</p>
事務局	<p>ご指摘の通り、複雑な設計となっているので、住民説明については丁寧に行っていく。【議案4】14ページにもあるように東部エリアでは試乗会や個別サポートを実施し、利用方法の説明をしているが、拡大するエリアについてもこうした取り組みを継続していく。</p>
松本委員	<p>丹波篠山市社会福祉協議会では岡野地区と連携し令和6年からモデル事業として「ザ・ビッグ」まで送迎する事業を実施した。住民の方が運転手となり許可登録不要で今年度も3月から5月までモデル事業として岡野地区の北側で運行し、登録者は10名、全部で68名が利用した。デマンドバスは岡野地区で運行するとのことだが、この事業を継続しても問題ないか。</p>
事務局	<p>市として地域の取り組みに対して中止させることはない。</p>
野村会長	<p>個人的な意見になるが、地域住民にとっても移動手段の選択肢が増えるという意味では準備を進めてもらえばよいと感じる。デマンドバスとエリアが同じだから支援を止めるというのは避けるべきだ。</p>

木原委員	<p>こちらの運行を許可登録不要という形でするのであれば国としても中止を求めるものではない。今は「ザ・ビッグ」までの輸送となっているが今後、乗降場所を増やしていくのであればデマンドバスと共倒れになる恐れがあるのでその点は注意してほしい。</p>
松本委員	<p>運転手に対して報奨費を支払し、有償ボランティアというような形で運営しようと考えている。</p>
木原委員	<p>それは良くない。許可登録不要という範囲でもらうことのできるお金は燃料費や駐車場料金までだ。ボランティア輸送には2段階あり、先ほどのような燃料費と駐車場料金をもらうレベルが1段階目で、自家用有償旅客運送や公共ライドシェア、福祉の自家用有償運送が2段階目である。2段階目であれば人件費などは支払ってもかまわない。 運転手に日当を支払うとなると問題が出てくるのでまた相談してほしい。</p>
松本委員	<p>有償ボランティアという形であれば人件費を支払って問題ないか。</p>
木原委員	<p>直接人件費を渡すのは問題である。運営団体を立ち上げ、その運営資金とする必要がある。運営団体は輸送だけではなく家の手伝いなど様々な作業の一環として買い物支援があり、そこに対してお手伝い賃として支払う形であれば問題ない。</p>
野村会長	<p>買い物で困っている地域住民がいることは事実であるのでそういった取り組みは続けてもらえたらと考えている。取り組みを続けていく上で「ザ・ビッグ」以外にも輸送してほしいというニーズが掘り起こされることも想定されるので、その際には市としっかりと協議していただきたい。</p>
木原委員	<p>デマンドバスエリア拡大は実証実験で1年間ということで間違いないか。</p>
事務局	<p>その通りである。</p>
野村会長	<p>他に質問はないか。 それでは、「【議案5】デマンドバス運行エリアの拡大について」について承認する方は挙手願う。 ～全員挙手～</p>
野村会長	<p>挙手多数と認めるので、「【議案5】デマンドバス運行エリアの拡大について」を承認する。</p>
野村会長	<p>それでは「【議案6】デマンドバスエリア拡大に伴う事業計画等の変更について」について事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>「【議案6】デマンドバスエリア拡大に伴う事業計画等の変更について」について説明。</p>

野村会長	<p>ただ今事務局より説明したことについて、何か意見・質問はあるか。</p> <p>～意見・質問なし～</p>
野村会長	<p>それでは、「【議案6】デマンドバスエリア拡大に伴う事業計画等の変更について」について承認する方は挙手願う。</p> <p>～全員挙手～</p>
野村会長	<p>挙手多数と認めるので、「【議案6】デマンドバスエリア拡大に伴う事業計画等の変更について」を承認する。</p>
野村会長	<p>それでは「【議案7】コミュニティバスA・Cルート of 休止について」について事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>「【議案7】コミュニティバスA・Cルート of 休止について」について説明</p>
野村会長	<p>ただ今事務局より説明したことについて、何か意見・質問はあるか。</p> <p>～意見・質問なし～</p>
野村会長	<p>それでは、「【議案7】コミュニティバスA・Cルート of 休止について」について承認する方は挙手願う。</p> <p>～全員挙手～</p>
野村会長	<p>挙手多数と認めるので、「【議案7】コミュニティバスA・Cルート of 休止について」を承認する。</p>
野村会長	<p>それでは「【議案8】自家用有償旅客運送にかかる停留所の追加について」について事務局より説明願う。</p>
事務局	<p>「【議案8】自家用有償旅客運送にかかる停留所の追加について」について説明</p>
野村会長	<p>ただ今事務局より説明したことについて、何か意見・質問はあるか。</p> <p>～意見・質問なし～</p>
野村会長	<p>それでは、「【議案8】自家用有償旅客運送にかかる停留所の追加について」について承認する方は挙手願う。</p> <p>～全員挙手～</p>
野村会長	<p>挙手多数と認めるので、「【議案8】自家用有償旅客運送にかかる停留所の追加について」を承認する。</p>
	<p>4. その他</p>

野村会長	では、その他の事項に移る。 全体を通して質問や意見等はあるか。
小松委員	協議内容からずれるかもしれないが、丹波篠山市は交通が不便であり、子供の通学に関して親の負担が非常に大きくなっている。こうしてほしいなど明確な案はないが、子供の送り迎えについて市には柔軟に対応してもらいたい。
事務局	本日教育委員会の教育部長が欠席となっているが、この意見をつなぎ、今後市として公共交通やスクールバスについてどのようにしていくかを協議させていただく。
野村会長	他に質問や意見はあるか。
野村会長	他になければ、本日の会議を終了させていただく。
堀井副会長	5. 閉会 あいさつ